

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 第二種漁港地御前漁港 漁港海岸保全施設整備事業に伴う護岸設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	R4-1	調査位置	広島県廿日市市地御前5丁目地先	北緯	34° 20' 18.9400"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所		調査期間	令和4年 8月23日～ 令和4年 8月24日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア確定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -5.01m	角	180° 上 下 0°	方	0°北 270°西 180°南 90°東
総削孔長	12.00m	度	0°	地盤勾配	0°水平 鉛直 90°
使用機種	東邦地下工機D2G		エンジン	ヤンマーディーゼルNFD-13K	
ポンプ	東邦地下工機DG-3B				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験採取番号	室内試験	削孔月日
											深さ (m)	100mmの打撃回数	50回の貫入量	100mmの打撃回数	50回の貫入量				
1	-6.51	1.50	砂質粘土	砂質粘土	暗灰				非常に軟らかく、含水が多い。砂は細砂主体である。φ2mm程度の亜角礫を微量に含む。		0	1.00	0	500	1.00	P-1	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
2			粘土質砂	粘土質砂	暗灰	rd1			非常に軟らかく、含水が多い。砂分は細砂～粗砂である。貝殻片を微量に混入する。シンワールサンプリングT-1において砂分が多く試料の刃先部が落下した。		1.50	2.00	0	600	1.50 2.00	P-2	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
3			機混り砂	機混り砂	暗灰	rd2			砂は中～粗砂である。非常に細く、細粒分をやや多く混入する。礫はφ2～4mm程度の亜角礫主体である。6L-6.0m以深、礫分を多く混入する。		2.00	2.60			2.60	T-1	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
4	-9.01	4.00	シルト質砂	シルト質砂	暗灰	rd3			砂は中～粗砂である。上部は粘性がやや強い。所々に有機物、木片を混入する。		4.15	4.65	1	500	4.15 4.65	P-3	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
5			機混り砂	機混り砂	暗灰	rd2			砂は中～粗砂である。上部は粘性がやや強い。所々に有機物、木片を混入する。		5.15	5.49	2	300	5.15 5.49	P-4	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
6	-11.71	6.70	機混り砂	機混り砂	暗灰	rd2			砂は中～粗砂である。上部は粘性がやや強い。所々に有機物、木片を混入する。		6.15	6.49	2	300	6.15 6.49	P-5	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
7			シルト質砂	シルト質砂	暗灰	rd3			砂は中～粗砂である。上部は粘性がやや強い。所々に有機物、木片を混入する。		7.15	7.49	3	300	7.15 7.49	P-6	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
8	-13.01	8.00	機混り砂	機混り砂	黄灰	rd3			φ2～4mm程度の亜角礫を混入する。砂は中～粗砂である。細粒分を少量含む。		8.15	8.49	7	300	8.15 8.49	P-7	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
9	-14.01	9.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄褐灰				強風化した花崗岩である。マサ土状であり、未風化礫が微量に含まれる。		9.15	9.49	8	300	9.15 9.49	P-8	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
10	-15.01	10.00	風化花崗岩	風化花崗岩	黄褐灰				風化した花崗岩である。マサ土状であり、未風化礫を含む。岩組織が残っている箇所は指圧で崩れる。		10.15	10.49	13	290	10.15 10.49	P-9	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
11											11.15	11.49	18	250	11.15 11.49	P-10	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		
12	-17.01	12.00									12.15	12.49	16	270	12.15 12.49	P-11	土粒子の密度、自然含水比、粒度液性限界、塑性限界		